



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5706 URL <https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 計治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 沓内 哲 (TEL) 03-5437-8028
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	238,100	△5.0	5,345	△42.2	4,957	△55.0	1,825	△59.9
2019年3月期第2四半期	250,633	3.4	9,250	△52.4	11,013	△37.3	4,548	△57.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 687百万円(△88.4%) 2019年3月期第2四半期 5,899百万円(76.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	31.96	—
2019年3月期第2四半期	79.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	512,260	175,663	32.6	2,925.20
2019年3月期	523,315	179,673	32.5	2,977.84

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 167,047百万円 2019年3月期 170,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	477,000	△4.2	16,500	△9.5	14,000	△21.1	5,000	6.6	87.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	57,296,616株	2019年3月期	57,296,616株
2020年3月期2Q	190,111株	2019年3月期	189,741株
2020年3月期2Q	57,106,568株	2019年3月期2Q	57,107,431株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
4. その他	13
継続企業の前提に関する重要事象等	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は持ち直しの動きが持続する等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速等により、輸出や生産の一部に弱さが見られる等、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

こうした経済環境の中、当社グループは2024年のありたい姿である「機能材料、金属、自動車部品の3事業を核に、成長商品・事業を継続的に創出し、価値を拡大し続けている会社」を実現する成長基盤の変革を目指し、2019年を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「19中計」を策定し、本年4月よりスタートいたしました。各事業セグメントにおいて「13、16中計の収穫」「19中計での成長戦略の実行」「変革を促す将来への布石」を実現するための重点施策に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同期比125億円（5.0%）減少の2,381億円となりました。

営業利益は、金属セグメントにおいて、神岡水力発電の固定価格買取制度(以下「神岡FIT」)への運用開始等による好転要因があったものの、機能材料および自動車部品セグメントにおいて、主要製品の販売量が減少したことに加え、非鉄金属相場や為替相場の変動に伴うたな卸資産の在庫影響(以下「在庫要因」)により悪化したこと等から、前年同期比39億円（42.2%）減少の53億円となりました。

経常利益は、営業利益の減少に加え、為替差損益が19億円悪化したこと等により、前年同期比60億円（55.0%）減少の49億円となりました。

特別損益においては、受取保険金4億円等を特別利益に計上し、固定資産除却損5億円等を特別損失に計上しました。加えて、税金費用および非支配株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比27億円（59.9%）減少の18億円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 機能材料セグメント

四輪向け排ガス浄化触媒は、需要が堅調であったことから販売量は増加しました。キャリア付極薄銅箔や電子材料用金属粉は、スマートフォン向けの需要が低調であったことから販売量は減少し、スパッタリングターゲットの販売量も減少しました。

当部門の売上高は、前年同期比44億円（5.1%）減少の823億円となりました。経常利益は、主要製品の販売量の減少に加え、インジウム価格の下落に伴う在庫要因により悪化したこと等から、前年同期比64億円（55.2%）減少の52億円となりました。

② 金属セグメント

亜鉛・鉛のLME（ロンドン金属取引所）価格が下落したこと等から、当部門の売上高は前年同期比7億円（0.9%）減少の836億円となりました。経常損益は、LME価格の下落による影響はあったものの、原料の調達条件が改善したことや神岡FITの運用開始等から、前年同期比39億円増加の8億円の利益となりました。

③ 自動車部品セグメント

自動車の国内市場は堅調であったものの、中国や米国市場は低調に推移したことから、当部門の売上高は前年同期比44億円（8.8%）減少の460億円となりました。経常利益は、販売量が減少したこと等から、前年同期比17億円（92.9%）減少の1億円となりました。

④ 関連セグメント

各種産業プラントエンジニアリングにおいて、国内グループ企業向け工事の完成工事高が減少したこと等から、当セグメントの売上高は前年同期比81億円（13.2%）減少の532億円となりました。経常利益は、各種産業プラントエンジニアリングの影響に加え、当セグメント内の持分法による投資損益が悪化したこと等から、前年同期比16億円（78.8%）減少の4億円となりました。

主要な品目等の生産実績及び受注状況の当期の推移は、次のとおりであります。

セグメント	品目	単位		第1	第2	第3	第4	累計
				四半期	四半期	四半期	四半期	
機能材料	銅箔	生産量	千t	6	7	—	—	14
金属	亜鉛	生産量	千t	55	55	—	—	111
	鉛	生産量	千t	15	18	—	—	34
自動車部品	自動車部品	生産金額	億円	210	204	—	—	415

* 亜鉛：共同製錬については当社シェア分

(2) 財政状態に関する説明

[資産、負債及び純資産の状況]

資産合計は、投資有価証券30億円等の増加があったものの、受取手形及び売掛金49億円、流動資産のその他43億円、現金及び預金19億円等の減少により、前連結会計年度末に比べ110億円減少の5,122億円となりました。

負債合計は、流動負債のその他59億円、支払手形及び買掛金23億円等の減少により、前連結会計年度末に比べ70億円減少の3,365億円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益18億円、繰延ヘッジ損益15億円等の増加に加え、剰余金の配当39億円、為替換算調整勘定25億円、非支配株主持分10億円等の減少があり、前連結会計年度末に比べ40億円減少の1,756億円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント上昇の32.6%となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益47億円、減価償却費136億円、法人税等の還付額52億円等の増加要因に対し、法人税等の支払額40億円等の減少要因を差し引いた結果、前年同期に比べ18億円収入増加の217億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出125億円、投資有価証券の取得による支出32億円等により、前年同期に比べ7億円支出減少の170億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額50億円（含む非支配株主への配当金の支払額）等から、前年同期に比べ62億円支出増加の53億円の支出となりました。

以上の結果、為替換算差額等を含めた現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ18億円減少の196億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績および事業環境等の変動要因を勘案の上、見直しております。

(金額：百万円)

		今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
売上高	機能材料	164,000	180,000	△16,000	△8.9
	金属	164,000	162,000	2,000	1.2
	自動車部品	93,000	99,000	△6,000	△6.1
	関連	118,000	123,000	△5,000	△4.1
	消去又は全社	△62,000	△64,000	2,000	—
	合計	477,000	500,000	△23,000	△4.6
営業利益		16,500	26,000	△9,500	△36.5
経常利益	機能材料	11,100	17,800	△6,700	△37.6
	金属	3,100	5,500	△2,400	△43.6
	自動車部品	700	1,300	△600	△46.2
	関連	2,700	4,200	△1,500	△35.7
	消去又は全社	△3,600	△2,800	△800	—
	合計	14,000	26,000	△12,000	△46.2
親会社株主に帰属する当期純利益		5,000	17,000	△12,000	△70.6

	4～9月 実績	10～3月 見込	今回予想 平均	(参考) 前回予想 4～9月 見込	(参考) 前回予想 4～3月 見込
為替(円/US\$)	109	108	108	109	110
亜鉛LME(\$/t)	2,554	2,450	2,502	2,631	2,600
鉛LME(\$/t)	1,958	2,100	2,029	1,943	2,000
銅LME(¢/lb)	270	260	265	274	295
銅LME(\$/t)	5,956	5,732	5,844	6,033	6,504
インジウム(\$/kg)	185	170	177	185	220

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 追加情報

(連結子会社の決算日の変更)

従来、決算日が12月31日である連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っておりましたが、より適切な連結財務諸表の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より、Mitsui Siam Components Co., Ltd.、Mitsui Components Europe Ltd.、PT.MITSUI KINZOKU ACT INDONESIAは、決算日を3月31日に変更し、無錫大昌機械工業有限公司、広東三井汽车配件有限公司、三井金属愛科特(上海)管理有限公司、MITSUI KINZOKU ACT MEXICANA, S.A. de C.V.は、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第2四半期連結累計期間は2019年1月1日から2019年3月31日までの3か月分の損益について、利益剰余金の増加366百万円として調整し連結しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,536	19,633
受取手形及び売掛金	91,273	86,289
商品及び製品	36,061	37,070
仕掛品	30,392	30,810
原材料及び貯蔵品	45,299	42,687
その他	24,952	20,556
貸倒引当金	△179	△204
流動資産合計	249,336	236,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	184,982	186,160
減価償却累計額	△122,179	△124,066
建物及び構築物（純額）	62,802	62,094
機械装置及び運搬具	385,567	388,896
減価償却累計額	△313,793	△317,375
機械装置及び運搬具（純額）	71,774	71,520
鉱業用地	1,466	367
減価償却累計額	△246	△251
鉱業用地（純額）	1,219	115
土地	32,244	33,372
建設仮勘定	11,492	9,233
その他	61,018	63,648
減価償却累計額	△50,695	△51,980
その他（純額）	10,323	11,667
有形固定資産合計	189,857	188,003
無形固定資産	4,613	4,959
投資その他の資産		
投資有価証券	64,363	67,369
長期貸付金	454	441
退職給付に係る資産	4,625	4,977
繰延税金資産	5,765	5,656
その他	4,437	4,094
貸倒引当金	△137	△85
投資その他の資産合計	79,508	82,453
固定資産合計	273,978	275,415
資産合計	523,315	512,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,043	36,677
短期借入金	78,010	76,046
コマーシャル・ペーパー	6,500	—
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,600	1,827
賞与引当金	5,098	5,262
その他の引当金	1,613	1,523
その他	38,100	32,200
流動負債合計	180,969	163,536
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	72,368	80,128
繰延税金負債	2,775	3,236
その他の引当金	2,308	2,180
退職給付に係る負債	26,404	26,813
資産除去債務	3,341	3,317
その他	5,473	7,382
固定負債合計	162,672	173,059
負債合計	343,641	336,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,631	22,631
利益剰余金	95,069	93,263
自己株式	△622	△623
株主資本合計	159,207	157,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,607	1,398
繰延ヘッジ損益	△1,976	△396
為替換算調整勘定	11,524	8,933
退職給付に係る調整累計額	△308	△287
その他の包括利益累計額合計	10,847	9,647
非支配株主持分	9,618	8,615
純資産合計	179,673	175,663
負債純資産合計	523,315	512,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	250,633	238,100
売上原価	214,299	204,942
売上総利益	36,333	33,157
販売費及び一般管理費	27,083	27,812
営業利益	9,250	5,345
営業外収益		
受取利息	81	260
受取配当金	1,452	1,092
為替差益	1,198	—
不動産賃貸料	358	354
その他	475	422
営業外収益合計	3,566	2,130
営業外費用		
支払利息	726	910
為替差損	—	719
持分法による投資損失	505	467
その他	570	421
営業外費用合計	1,803	2,518
経常利益	11,013	4,957
特別利益		
固定資産売却益	26	128
受取保険金	13	471
その他	32	35
特別利益合計	71	634
特別損失		
固定資産売却損	21	33
固定資産除却損	646	510
その他	670	270
特別損失合計	1,339	814
税金等調整前四半期純利益	9,745	4,776
法人税、住民税及び事業税	6,729	2,342
法人税等調整額	△1,777	380
法人税等合計	4,951	2,723
四半期純利益	4,793	2,053
非支配株主に帰属する四半期純利益	245	228
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,548	1,825

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	4,793	2,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168	△179
繰延ヘッジ損益	3,911	1,921
為替換算調整勘定	△1,232	△2,983
退職給付に係る調整額	81	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,487	△143
その他の包括利益合計	1,105	△1,366
四半期包括利益	5,899	687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,605	625
非支配株主に係る四半期包括利益	293	62

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,745	4,776
減価償却費	13,321	13,670
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20	36
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	99	375
受取利息及び受取配当金	△1,533	△1,352
支払利息	726	910
為替差損益(△は益)	237	286
持分法による投資損益(△は益)	505	467
固定資産売却損益(△は益)	△4	△95
固定資産除却損	646	510
売上債権の増減額(△は増加)	10,269	688
たな卸資産の増減額(△は増加)	△455	△127
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,482	△23
その他	△31	△1,058
小計	28,065	19,064
利息及び配当金の受取額	1,537	1,359
持分法適用会社からの配当金の受取額	878	482
利息の支払額	△749	△890
法人税等の支払額	△10,724	△4,057
法人税等の還付額	616	5,237
その他	209	514
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,834	21,711
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,216	△12,502
有形固定資産の売却による収入	119	186
無形固定資産の取得による支出	△280	△802
固定資産の除却による支出	△495	△353
投資有価証券の取得による支出	△396	△3,241
投資有価証券の売却による収入	—	39
その他	△437	△329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,708	△17,004

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,014	△712
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	21,500	△6,500
長期借入れによる収入	—	12,259
長期借入金の返済による支出	△19,292	△5,035
リース債務の返済による支出	△200	△294
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△3,997	△3,997
非支配株主への配当金の支払額	△1,145	△1,064
その他	△17	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	859	△5,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△531	△472
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,454	△1,112
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△2	—
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	985	△780
現金及び現金同等物の期首残高	22,377	21,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,815	19,631

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 部品	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	83,441	71,940	50,498	43,150	249,031	1,601	250,633
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,332	12,444	—	18,259	34,035	△34,035	—
計	86,774	84,384	50,498	61,409	283,067	△32,434	250,633
セグメント利益 又は損失(△)	11,691	△3,136	1,896	2,109	12,560	△1,547	11,013

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△846百万円、固定資産の調整額△1,017百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 部品	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	78,989	72,227	46,076	40,824	238,118	△18	238,100
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,359	11,433	—	12,472	27,265	△27,265	—
計	82,349	83,660	46,076	53,297	265,384	△27,283	238,100
セグメント利益	5,243	832	134	446	6,656	△1,699	4,957

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,330百万円、たな卸資産の調整額△324百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。